

■ 審査基準(案)

項番	評価項目	着眼点	求める提案内容、判断基準	配点
1	過去10年間の施設の設備工事の実績 ※コンソーシアムの場合、どの構成企業の実績でも可とする。協力企業は不可。	設計の実績(新築・改修問わず)(上限2件)	① 同種の実績がある(1件あたり4点) ② 類似の実績がある(1件あたり2点) ※同種・延べ面積5,000㎡以上の屋内温水プールを含む建物 類似・延べ面積2,000㎡以上の屋内温水プール、大浴場付ホテル、温浴施設及びこれらを含む複合施設 ※それぞれの項目で重複可	8
		施工の実績(新築・改修問わず)(上限2件)		8
2	事業者の能力	保有資格	ZEBプランナー認定の有無 ① ZEBプランナー認定あり(2点) ② 記載なし(0点)	2
3	経済性(参考見積)	イニシャルコスト	100×(1-見積額/提案上限額) ※上限20点 80%で満点	20
4		業務実施方針	・本事業の背景や目的を的確に理解し、現状を踏まえた本事業の重要な課題の抽出 ・抽出した課題に対して効果的な課題解決及び適切な業務遂行方針の提示	2
		業務実施体制	・本事業を推進する設計、施工、工事監理、維持管理の具体的な取組体制と会社のバックアップ体制 ・市の各部門間の合意を形成するための手法・ツール・クラウドサービスの利用等 ・業務を推進するための会議体等の提案	4
5	技術提案 ※各項目とも要求水準書および添付資料1「施設の運営状況と課題」の内容に留意して作成すること	指定改修設備の改修内容に関する提案	・高効率機器の採用、低負荷運転時の制御、熱源変更による省エネ提案 ・故障時に対応したシステム、各種照明制御など、機器運用の効率化に関する提案 ・デマンド制御、ファン・ポンプへのインバーター導入など、WEBPRO未評価技術の採用による光熱費削減提案 ・現状の熱源機器に対して根拠のあるダウンサイジング提案および検討手法 ・その他メンテナンス性・耐久性を向上させる提案	6
6		指定改修設備以外に関する提案	・エネルギー消費量の見える化のための計量計画 ・プールという特殊施設に適した節水対策の提案 ・指定改修設備以外に関する省エネ提案(換気設備、エアハンドリングユニットの更新、閉架書庫LED化、外壁・開口部の断熱改修、日射遮蔽対策など) ・その他メンテナンス性、耐久性の向上などに資する提案	10
7		工程管理手法	・設計業務着手から図面承認、積算、資機材発注、着工、竣工完了までの全体工程表。クリティカルパスと工事期間を明記すること ・工事期間中のプール、図書館、老人福祉センター等各施設の部分使用の検討。具体的に、どの施設をどの期間に部分使用可能か明記すること。 ・具体的な工程遅延リスク対策と工程管理手法	6
8		品質管理手法 工事計画(安全対策、近隣対策含む)	・対象施設の課題を踏まえ、品質確保のためどのようなプロセスで各業務を行うか、その具体的な品質管理手法 ・要求水準及び提案内容の実現に寄与する管理方法 ・総合的な仮設計画、動線計画、各施設の部分利用時の具体的な安全対策、近隣への配慮	6
9		維持管理・チューニング等	・運用段階のエネルギー分析に関する具体的な手法 ・分析したデータに基づくチューニングの実施手法および運用改善提案 ・チューニング後の効果実証手法 ・維持管理業務期間終了後に向けた、施設管理者への運用方法等の具体的な伝達手法	8
10		地域貢献	・提案見積額に対する市内業者※への発注金額の割合 5%以上:4点、2.5%以上、5%未満:2点、2.5%未満:0点 ※市内業者:高槻市入札参加者名簿に登録されている市内業者	4
11	BEI計算書	省エネ性・ランニングコスト	提示されている建築条件等をもとに、BEIを算出。その値により評価。 【既存施設BEI 1.36】 0.90以下:10点、0.95以下:5点、1.00以上:0点 その間は按分	10
12	技術職員の経験及び能力 (ヒアリング)	取組姿勢	提案したテーマに対する取組意欲について	2
13		説明の明確さ	提案したテーマに関する説明の明確さについて	2
14		コミュニケーション力	質問に対する応答について	2
合計				100